

「やってみよう Praat_task」
“Probemos Tarea de Praat”

○今回確かめること (単音についてはやりません)

Lo que se confirmará día de hoy.

タスク1 : アクセント : 山 (下がるところがある) か丘か (フラット)

Tarea 1: Acento: Montaña (se baja) o Cerro (plano)

タスク2 : イントネーション : 句切り「/」と「へ」の字

Tarea 2: Entonación: corte “/” y letra “へ” (sube y baja)

タスク3 : リズム : 促音「っ」や長音「ー」が入っているか、半母音やが長くないか

Tarea 3: Ritmo: doble consonante “っ”, sonido prolongado “ー”, no alargue media vocal o sonido contraído.

○事前課題1 : ワークショップの前までに必ずやってほしいこと!

Tarea previa 1 : Favor de hacerla antes del taller, sin falta.

1. Praat をインストールしてください (参考 : ppt-2-5)

「つたえるはつおん」からでも、ネット検索でもオーケー

1. Instalar Praat (ver ppt-2-5)

Instalar por “つたえるはつおん” o sitio web

http://www.japanese-pronunciation.com/movie_rhythm3.html

<https://www.fon.hum.uva.nl/praat/>

○事前課題2 : Praat インストール後、できればやってほしいこと

Tarea previa 2: Después de instalar Praat, favor de hacerla si es posible.

2. Praat で録音 マイクを使ったほうが雑音なくきれいに録音できます (ppt-6-9)

・「New」→「Record mono sound」→「Record」→「Stop」→「Name」で名前→「Save to list」で Praat に保存してここから分析へ (ppt-7)

2. Grabar en Praat, si utilizas un micrófono se graba más limpio sin ruidos (ppt-6-9)

「New」→「Record mono sound」→「Record」→「Stop」→「Name」asignar un nombre →「Save to list」para guardar en Praat para analizar (ppt-7)

・PC 等に保存するときは、「Save」→「Save as WAV file」(ppt-8)

Para guardar en tu PC, 「Save」→「Save as WAV file」(ppt-8)

・保存した音声ファイルを使うときは、「Open」→「Read from file」(ppt-9)

Para utilizar el archivo de sonido, 「Open」→「Read from file」(ppt-9)

文例: A(句切りなし)を録音してから

見て、1, 2回練習してもいいが、ダラダラ休まず読む。

B(句切り「、」や「/」: 短いポーズ)で休んで録音。(/)は入れても入れなくても良い。

きちんとポーズを入れて読む

Ejemplo: Primero grabar A (Sin pausa). Leer sin pausa, puedes practicar unas veces antes de grabar.

Después grabar B(pausar con “、” y “/ pausa corta” (／) es opcional. Leer con pausas.

名前→自分の名前、国→自分の国名を入れて読んでください。

名前→tu nombre, 国→tu país

A. はじめましてみなさん 名前 ともうします。りょこうがだいすきな 国 じんです。
にほんでゆきをみるのがゆめでした。やっときょねんよやくしました。

B. はじめまして、みなさん、 名前 ともうします。旅行が大好きな (／) 国 人です。
日本で (／) 雪を見るのが (／) 夢でした。やっ (／) 去年 (／) 予約しました。

単語例 : A (アクセント付きひらがな) を読んで録音、B はスズキクン入力用

Ejemplos palabras Grabar A (Hiragana con acento) B es para Suzuki-kun de OJAD

A. ビール-ビール おばさん-おばあさん している - 知っている

B. ビル、、ビール、、おばさん、、おばあさん、、している、、知っている (スズキクン入力用)

タスク 1 : アクセントを確認 (ppt-10-19)

- 1) 「Praat Objects」 → 「View & Edit」 で図が出る (ppt-11)
- 2) 青い Pitch 曲線で声の高さを確認する (出ていないときは「Pitch」 → 「show Pitch」 に) (ppt-12)
スペクトルグラムはここではなくてもいい : 「Spectrum」 → 「Show spectrogram」 を外す (ppt-13)
- 3) Pitch が上でもなく下でもなくちょうど真ん中に来るようにする (ppt-14, 15)
「Pitch」 → 「Pitch settings」 → 「Pitch range」 で上と下の高さを調整
- 4) 分析範囲を短くする : 発音が長いときは、チェックしたい発音をドラッグして「sel」を押す。戻したいときは「all」か「bak」を押す (ppt-16)
- 5) 聞きながら見ながら確認 : 下にあるグレー部分をクリックする (ppt-17 : 発話長が表示)
 - ・ 1 段目はカーソルで指定した範囲を聞く
 - ・ 2 段目は全体を聞く
- 6) 「おばさん」「おば」あさん」モデルと比較確認 (ppt-18)
 - ①自分の音声分析 Pitch 図を下に (A 下がりはいいが「おばさん」句頭の上昇無し、R1_2 と R2 同じパターン)
 - ②モデル音声の図 : OJAD スズキクン (F~M) の声をダウンロードし) か教科書音声図を下に
☆図のコピー方法 (ppt-19) ウィンドウズでは snipping tool (M2)
 - ③①と②を聞きながら見ながら比較 : モデルのように、
 - ①「おばさん」は) 丘 (フラット平ら) になっているか
 - ②「おば」あさん」は山 (下るところが有る、「ば」の後で下がっているか)

○タスク2：イントネーションを確認 (ppt-20-26)

1) 「New」で録音するか「Open」でファイルを選択して、「View & Edit」を押す(ppt-21)

2) 短くする：10秒以内ドラッグして「sel」(ppt-21-22)

「sel」で短く、「bak」「all」でもとに戻る。この状態で音声ファイルを保存できる

または、「View」「Show analyses」「Longest analysis」でもっと長い数値にして長くできる

3) モデルと比較する (Pitch だけでいい) (ppt-23-26)

①自分の音声分析 Pitch 図を下に (句切りなしと句切り有り)

②モデル音声の図：OJAD スズキクン (F~M) の声をダウンロードし) か教科書音声図を下に

③①と②を聞きながら見ながら比較：ポイント (ppt-24) はモデルのように、

・「/」があるか (十分なポーズはあるか)

・Pitch が「へ」の字になっているか (山の繰り返しになっているか)

○タスク3：促音や長音の長さを確認 (ppt-27-32)

1) 「New」で録音するか「Open」でファイルを選択して、「View & Edit」を押す (ppt-28)
分析 (みよう) とするところだけ選択する「sel」

2) 波形をコピーしてモデルと比較する

- ・促音の長さを確認「している」「知っている」(ppt-29)
- ・長音の長さを確認「ビ[]]ル」「ビ[]]ール」「おばさん」「おば[]]あさん」(ppt-30)

促音「している」「知っている」

①自分の音声分析 Pitch 図を下に

②モデル音声の図：OJAD スズキクン (F~M) の声をダウンロードし) か教科書音声図を下に

③①と②を聞きながら見ながら比較：モデルのように
促音の長さが違うかどうか

長音「ビ[]]ル」「ビ[]]ール」「おばさん」「おば[]]あさん」

①自分の音声分析 Pitch 図を下に

②モデル音声の図：OJAD スズキクン (F~M) の声をダウンロードし) か教科書音声図を下に

③①と②を聞きながら見ながら比較：モデルのように
長音の長さが違うかどうか